



取扱説明書

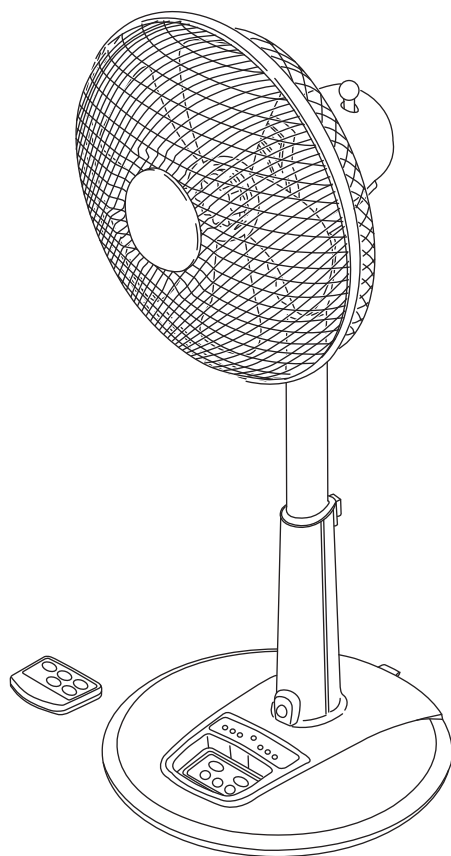
保証書付

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途での使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

人感センサー付
30cmリビング扇風機

YLR-AS302 (ワイヤレスリモコン)



も く じ

安全上のご注意	1～4
各部の名称	4～5
組み立てかた	6～7
使いかた	8～11
お手入れと保管	12～13
仕様	13
長期使用製品についてのご注意	14
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社扇風機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負うことが想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



○記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

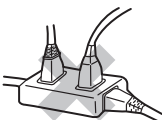
警告



交流100V以外での使用やコンセント・配線器具の定格を超える使いかたはしない

禁止

- 延長コードやタコ足配線などで定格を超えると、コンセント部が異常発熱して、発火・火災の原因になります。



分解禁止

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はおこなわない

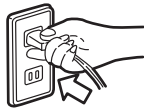
- 発火したり、異常動作してけがの原因になります。
- ※故障と思われるときは、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。



指示に従う

電源プラグは根元まで確実に差し込む

- 感電や発熱による火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

- 感電・ショート・発火の原因になります。



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

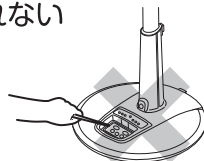
- 不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



禁止

開口部やすき間にピンや針金、金属物などの異物を入れない

- 感電や異常動作してけがをする原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋はお子様の手の届かない場所に保管する

- 誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして窒息し、死亡の原因になります。



禁止

ガードの中や可動部、すき間などに指や棒などを入れない

- 重大なけがをする原因になります。特にお子様には注意してください。

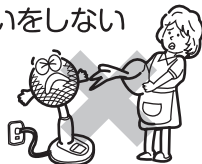
警告



水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

- 感電・ショート・火災・故障の原因になります。



指示に従う

定期的に電源プラグのほこりを取る。電源プラグにピンやゴミを付着させない

- 刃や刃の取り付け面にピンやゴミが付着したり、ほこりがたまると、感電・ショート・発火の原因になります。また、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグのお手入れは、乾いた布でふいてください。



禁止

組み立てる前に支柱を立てたり、電源プラグを差し込んだりしない

- 不安定なため転倒し、ショート・感電・けがをする原因になります。



指示に従う

本体に異常・故障・破損があったり、電源プラグや電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

- 火災・感電・けがの原因になります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店へ点検・修理をご相談ください。



禁止

羽根・ガード・ベースを付けずに高さ調節ボタンを押したり運転しない

- モーター部分が飛び出したり、転倒してけがの原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない

- お子様が誤ってなめないように注意してください。感電やけがの原因になります。



禁止

浴室などの湿気のある場所や、雨や水のかかる場所で使用しない

- ショート・感電・故障の原因になります。



禁止

ガードや本体に物をかけたり、かぶせてふさぐなどして使用しない

- 本体の過熱や故障の原因になります。



指示に従う

羽根・ガード・支柱を組み立てるときはスピナー・ナット類を確実に締め付ける

- 運転中に部品が外れけがをする原因になります。



禁止

使用中にガードを持って、上下・左右に風向きをかえない

- ガードを持って強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があり、羽根が破損し、けがをする原因になります。



禁止

お子様だけで使用させたり、幼児の手の届く所で使用しない

- 感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損させたり、熱器具に近付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて使用したりしない

- また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると、電源コードが破損し火災・感電の原因になります。

※結束バンドは必ず外す。

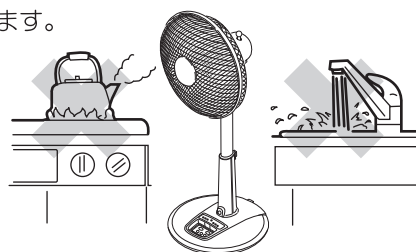
注意



禁止

次の場所では使わない

- 感電・ショート・火災・爆発・事故・故障の原因になります。
- 火気の近く
- 高温（40℃以上）になる所
- キッチンや工場などの油・油煙が発生する所
- ほこりや金属粉の多い所
- 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所



⚠ 注意



指示に従う

市販の扇風機カバーを取り付けるときは、たるみがないようにする

- 市販の扇風機カバーはたるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損、けがの原因になります。



プラグを抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。



禁止

本製品は一般家庭用です。絶対に業務用には使用しない

- 本製品に無理な負担がかかり、火災・事故・故障の原因になります。



禁止

製品を移動するときは引きずらない

- 床面や畳に傷が付く原因になります。



禁止

風を長時間、身体にあてない

- 健康を害することがあります。特に、お子様やお年寄り、ご病気の方にはご注意ください。脱水症状を引き起こす原因になります。



禁止

本体に強い衝撃を与えない

- 感電・故障・破損の原因になります。



禁止

運転中に本体を移動させない

- 特に首振り運転中に移動すると、故障やけがの原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かない

- 感電やショートして発火することがあります。※必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。



指示に従う

本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する

- 羽根やガードが外れたり、落下によりけがをする原因になります。



指示に従う

運転停止直後はモーター軸が熱くなっていることがありますので、お手入れをする際は注意する



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

- 変質・破損などによりけがや事故の原因になります。



禁止

ガードに髪などを近づけない

- 髪などが巻き込まれ、けがをする原因になります。



禁止

カーテンなどの障害物の近くや不安定な場所で使用しない

- ガードの中にカーテンなどが吸い込まれ、羽根の破損やけがの原因になります。
- 不安定な場所に置くと、転倒や落下するなどしてけが・故障の原因になります。



禁止

本製品は屋内専用です絶対に屋外で使用しない

- 屋内での使用に基づき設計されています。屋外で使用すると、故障・漏電・発火の原因になります。



指示に従う

乾電池の取り扱いには充分注意する

- 使いかたを誤ると発熱や破裂したり、けが・やけど・感電の原因になります。
 - 指定以外の乾電池を使用しない。(指定乾電池:単4形乾電池 R03)
 - ⊕と⊖を逆にして使用しない。
 - 損傷(被覆やぶれ・変形・傷)した乾電池は使用しない。
 - 乾電池をお子様の手の届く所に置かない。
 - 充電・分解・ショート・加熱したり、火の中に入れてたりしない。
 - お子様が誤って、乾電池をなめたり、飲み込んだりしないように注意する。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

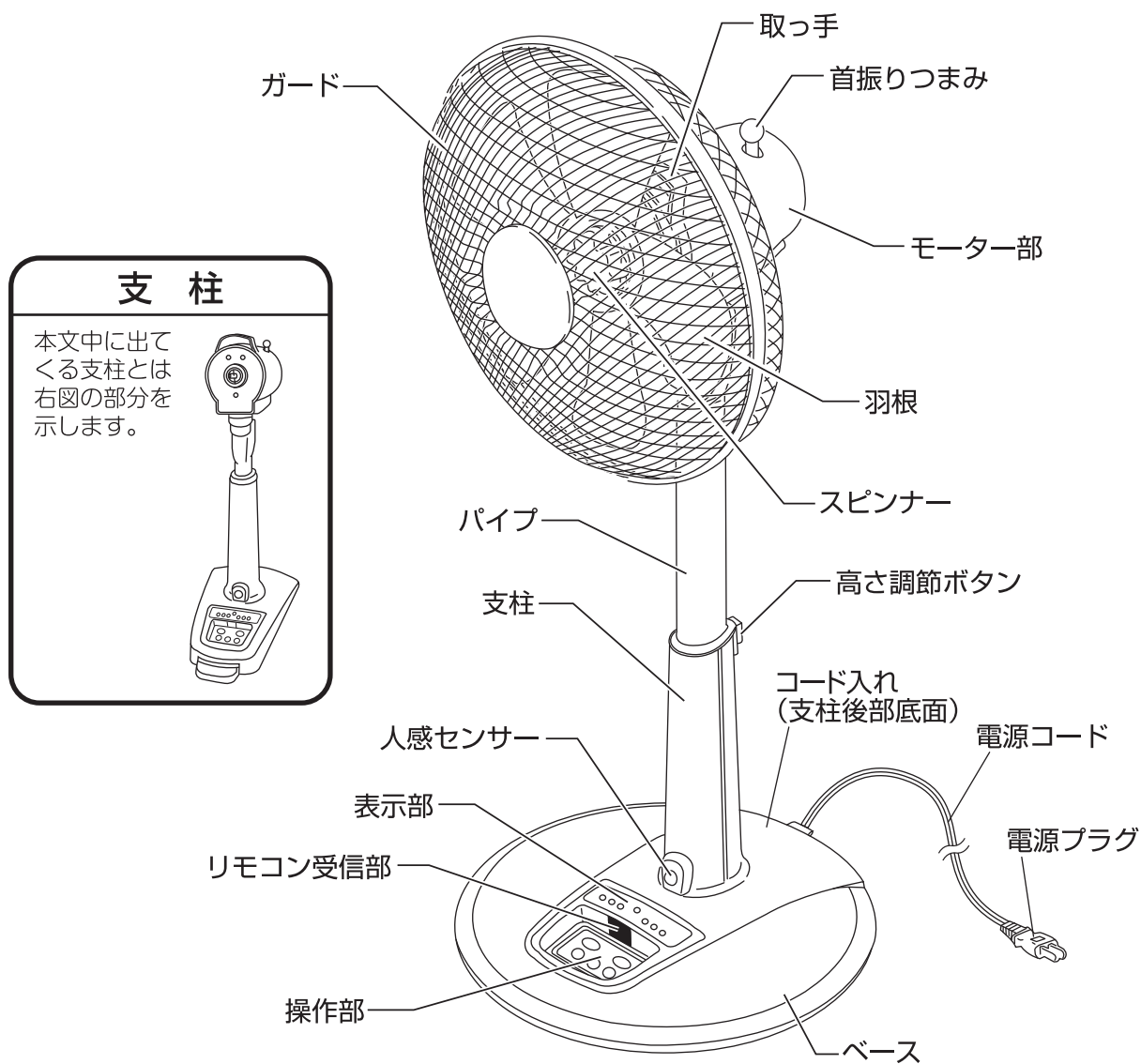
- 製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。

事故防止の為、必ずお守りください

運転中は羽根が高速で回転しています。お子様が誤って指などを入れないように、保護者の方が注意してください。

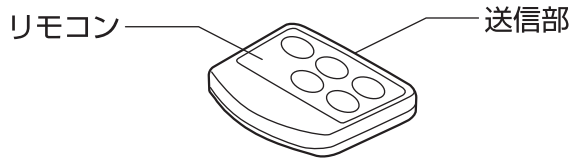
- ガードを外しての運転は大変危険です。絶対におこなわないでください。
- ご使用时以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部の名称



各部の名称 つづき

付 属 品



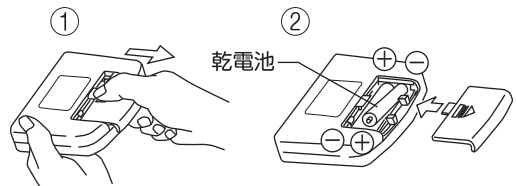
●ご注意

※本製品に最初から付属している乾電池はテスト用のため、新しい乾電池に比べて寿命が短い場合がございます。リモコンが動作しにくくなった場合は新しい乾電池と取りかえてください。

リモコン

1. 乾電池の入れかた〈単4形乾電池 (R03) 1.5V 2本〉

- ①. リモコンを裏返し、ふたを押さえながら矢印の方向へ引っ張り外します。
- ②. ⊕・⊖の表示に合わせて乾電池を2本入れます。
- ③. ふたをします。



■動作しにくくなった場合は、新しい乾電池と取りかえてください。

●ご使用上の注意

※損傷(被覆やぶれ・変形・傷)した乾電池は使用しないでください。破裂、発熱、液もれの原因になります。

お願い

- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池の液もれを防ぐために、リモコンから乾電池を取り出してください。
- 充電式電池や種類の違う乾電池、新・旧を混ぜて使わないでください。

2. 操作のしかた

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて、お好みのボタンをゆっくり押します。

- リモコンの使用できる範囲は約3mです。

お願い

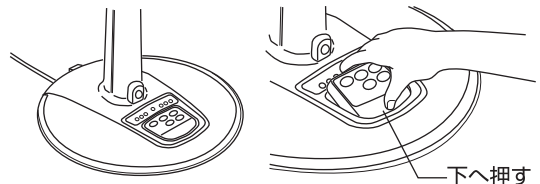
- リモコンの送信部に傷を付けないでください。
- リモコンのボタンを2つ以上同時に押さないでください。
- リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけたりしないでください。

■次のような所ではリモコンの操作ができないことがあります。

- 本体受信部とリモコンの間に障害物(羽根・ガード含む)がある所。
- インバーター照明器具または、電子瞬時点灯照明器具を使用している所。
- 本体の受信部に直射日光などの強い光があたる所。

■リモコンは、操作パネルの上に置くことができます。置いた状態でも操作できます。

■取り出すときは、リモコンの図の位置を指で押さえて送信部側を浮かせ、取り出します。



組み立てかた

警告



羽根・ガード・ベースを付けずに高さ調節ボタンを押したり運転しない

●モーター部が飛び出したり、転倒してけがの原因になります。



組み立てる前に支柱を立てたり、電源プラグを差し込んだりしない

●不安定なため転倒し、ショート・感電・けがをする原因になります。

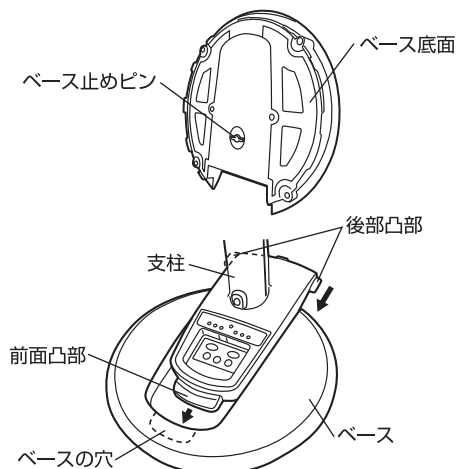
ベースと支柱の連結

1 ベースに支柱をはめ込む

- ベース底面に仮止めしてあるベース止めピンを外してください。
- 平らな安定した場所にベースを置き、支柱をベース後部側から差し込んで、支柱前面凸部をベースの穴に差し込み、確実にはめ込んでください。

……ご使用上の注意……

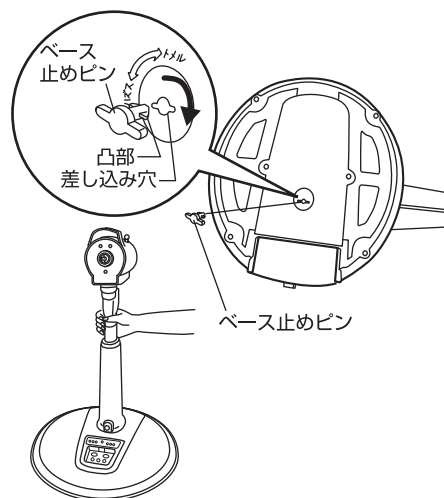
※支柱をベースにはめ込む際、支柱後部の両サイドにある凸部をベースに確実にはめ込んでください。また、電源コードを挟み込まないように注意してください。電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



2 ベース止めピンで固定する

- モーター部を持ってゆっくりと寝かせてください。
- ベースの底面より、支柱とベースをベース止めピンでしっかり固定してください。
- ベースを持ち上げ確実に固定されているか確認してください。

お願い 持ち運ぶときにベースが落下し破損しないよう、必ず付属のベース止めピンで固定してください。



3 本体を立てる

- 平らな安定した場所に本体を立てて、ガード、羽根の取り付け準備をしてください。

ベースと支柱の取り外しかた (保管などをするとき)

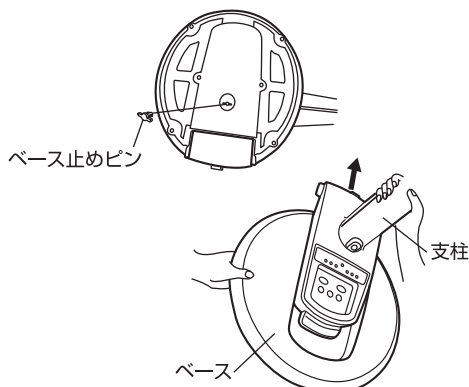
1 ベース止めピンを外す

- モーター部を持ってゆっくりと寝かせてください。
- ベース底面のベース止めピンを外してください。

2 ベースから支柱を外す

- ベースと支柱を持って、支柱をベース後側へゆっくりと引き抜いてください。

お願い ベース止めピンは、ベースと支柱の連結に必要ですので大切に保管してください。また、包装部品は扇風機を保管するときに必要ですので、捨てないでください。



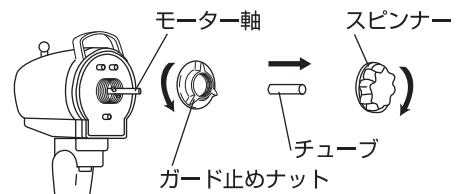
ガード・羽根の取り付け

ご 注 意

- 羽根に貼り付けてある「羽根マーク」は、はがさないでください。
- ガード止めナットとスピナーはネジ山に注意し、かたむきのないようしっかり締め付けてください。
- 羽根を付けずにモーターを運転しないでください。故障の原因になります。
- ガード・羽根の組み立て、取り外しのときはモーター軸や回り止めピンなどでけがをしないように充分注意しておこなってください。

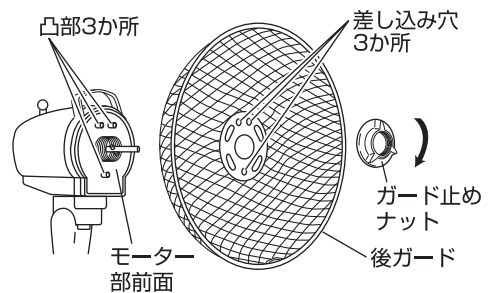
1 スピナー、ガード止めナット、チューブを外す

- スピナー、ガード止めナット、モーター軸のさび防止用チューブを外してください。（チューブは保管のとき必要ですので捨てないでください。）



2 後ガードの取り付け

- 後ガードの差し込み穴3か所をモーター部前面の凸部3か所に向き合わせて差し込みます。
- 「ガード止めナット」を右に回して確実に締め付けてください。

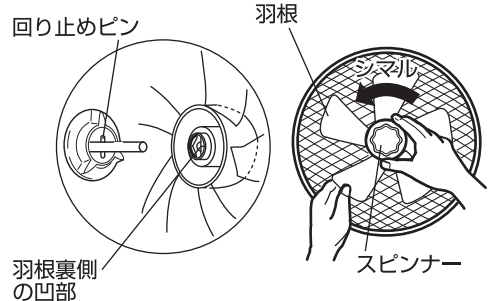


…ご使用上の注意…

※ガード止めナットは確実にしっかり締め付けてください。ガードが外れてけがをする原因になります。

3 羽根の取り付け

- モーター軸の「回り止めピン」と羽根裏側の「凹部」の向きを合わせて、羽根をモーター軸の奥まで差し込みます。
- 羽根を押さえながら、「スピナー」を左へ回して確実に締め付けてください。

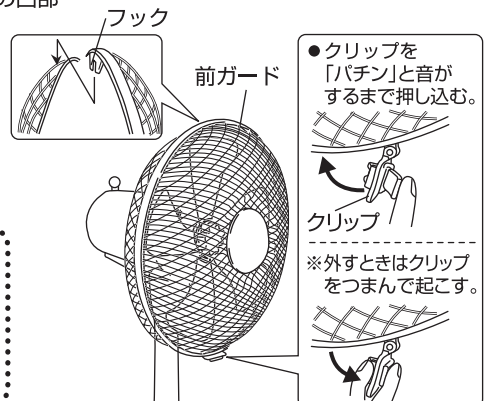


…ご使用上の注意…

※スピナーは確実にしっかり締め付けてください。羽根が外れてけがをする原因になります。

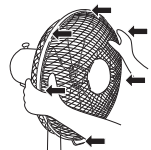
4 前ガードの取り付け

- 前ガードの「フック」を後ガードの上部に合わせて掛け、前ガードを押さえて全周を後ガードに確実にはめ込みます。
- 「クリップ」で右図のように確実に固定してください。



…ご使用上の注意…

※前ガードのツメ6か所(矢印部)を後ガードに確実にはめ込んでください。ガードが外れてけがをする原因になります。



使いかた

警告



禁止

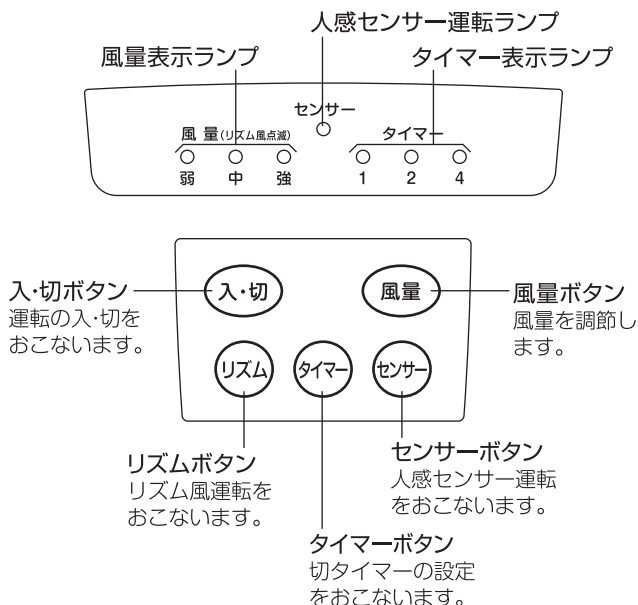
ガードの中や可動部、すき間などに指や棒などを入れない

●重大なけがをする原因になります。特にお子様には注意してください。

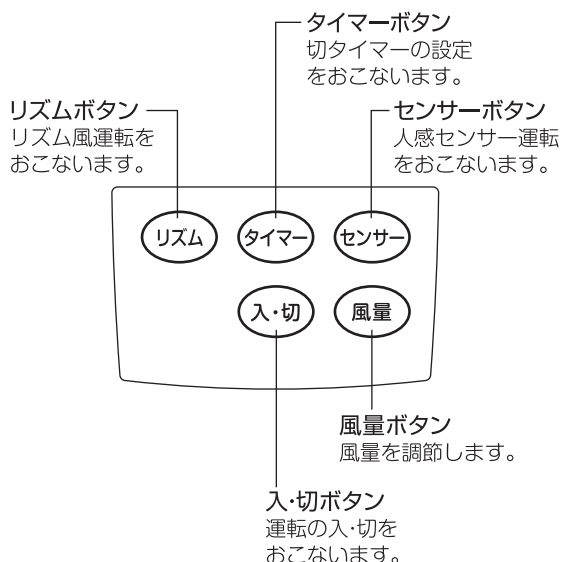
- 運転するときは、最初に「入・切」ボタンを押します。他のボタンを押しても動作しません。
- 運転中に停電したり、電源プラグをコンセントから抜いた場合は、初期状態に戻りますので始めから操作をやり直してください。
- 操作部の一部が暖かくなることがありますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

■各ボタン・表示ランプの説明

〔本体表示ランプ・操作部〕



〔リモコン操作部〕



- 1 結束バンドを必ず外してから電源プラグをコンセントに差し込む**
※交流100Vのコンセントに、電源プラグをがたつきがないように根元まで確実に差し込んでください。

- 2 「入・切」ボタンを押して運転する**



- 「入・切」ボタンを押すと運転します。
- 運転開始直後は「中」で運転し、その後「弱」に入ります。
- もう一度押すと停止します。

使いかた つづき

3 風量を調節する



- 「風量」ボタンを押すと風量が下図のように順送りでかわります。
- 風量ランプを見ながら操作してください。

→ 弱 → 中 → 強 →

4 リズム風運転をする



■「リズム風」とはマイコンのはたらきで、風の強さを繰り返し変化させて運転することです。

- 運転中に「リズム」ボタンを押すとリズム風にかかります。
 - もう一度押すとリズム風は解除されます。
 - リズム風時、風量ランプが点滅します。
- ※「弱」リズムのときは、運転と停止を繰り返すため、羽根がときどき止まることがありますが異常ではありません。

5 「切」タイマーを設定する



■切タイマーは、設定した時間がくると運転を停止するタイマーです。

- 運転中に「タイマー」ボタンを押すとタイマーが下図のように順送りでかわります。
- タイマーランプを見ながら操作してください。

→ 1 → 2 → 4 → タイマーセット解除
(時間) (連続運転)

- タイマーセットがされているときはタイマーランプが点灯します。
 - 時間の経過とともにタイマーランプがかわり、残りの時間を表示します。
 - セット時間が終わりますと、タイマーランプが消え、自動的に運転が停止します。
- ※タイマーセット時間は目安です。

6時間自動OFFタイマーについて(切り忘れ防止)

この扇風機は運転開始から約6時間経過すると自動的に運転を停止する機能が付いています。再度運転を開始する場合は、「入・切」ボタンを押してください。

※「切」タイマー設定時は、設定時間で運転を停止します。

6 人感センサー運転をする



■人感センサー運転とは、センサーが人の動きを感知しなくなると自動で運転を停止し、人の動きを感知すると自動で運転を開始する運転です。

- 運転中に「センサー」ボタンを押すと、人感センサー運転ランプが点灯して人感センサー運転を開始します。
- もう一度押すと、人感センサー運転ランプが消え、人感センサー運転が解除されます。

※運転停止状態で「センサー」ボタンを押しても人感センサー運転は開始しません。

使いかた つづき

- 人感センサーが人の動きを感知なくなると約5分後に運転を停止します。運転停止中は人感センサー運転ランプのみが点灯します。
- 運転停止後、再び人の動きを感知すると**停止前の状態で運転を開始します。**
(風量とリズム風の運転状態を記憶しています。)表示ランプも停止前の運転状態で点灯します。

※「切」タイマー設定中は人感センサー運転を設定することができません。

※人感センサー運転中に「切タイマー」を設定すると人感センサー運転は解除されます。

※電源プラグを抜くと全てリセットされ、初期状態に戻ります。

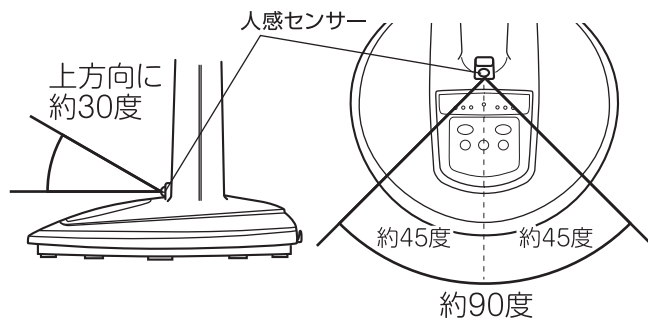
人感センサー運転中の6時間自動OFFタイマーについて

- 人感センサーの働きで運転が停止すると、6時間自動OFFタイマーは解除されます。
- 人感センサーの働きで運転が再開すると、再開した時点から6時間自動OFFタイマーが自動的に設定されます。

人感センサーについて

■人感センサーの感知範囲

- 人感センサーの感知範囲は右図のようになっています。この範囲内で人の動きを感知するよう本体を設置してください。
- 人の動きが止まると人感センサーは感知しません。再度、感知範囲内で人が動くと感知します。



感知距離は約2.5m以内です。

■次のような所では人感センサーが誤作動したり、感知しないことがあります。

- 人感センサーの感知範囲内に人以外の動くものがあると、人感センサーが作動することがあります。
- 直射日光などの強い光があたる場所や、反射するものが近くにある場所で使用すると、人感センサーが誤作動したり、感知しないことがあります。

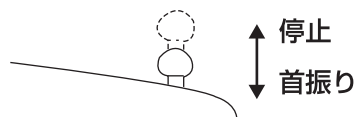
ご 注 意

- 人感センサー部は定期的に乾いた柔らかいふきんでお手入れをしてください。人感センサーの表面が汚れていると、感度が悪くなったり作動不良の原因になります。

使いかた つづき

7 首振り運転をする

- 首振りつまみを下へ押しと首振りを始め、上へ引き上げると停止します。



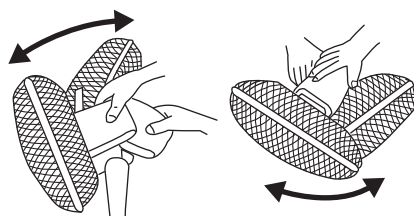
8 高さを調節する

- 高くする場合は、高さ調節ボタンを押しながら、パイプを上げ、高さを調節してください。



9 風向きを上下・左右にかえる(手動)

- 運転を停止して羽根が完全に止まってから、本体を支えて、モーター部を上下・左右に動かしてください。
- ※カチカチと音がでる範囲まで調節できます。



警告



使用中にガードを持って、上下・左右に風向きをかえない

- ガードを持って強く操作すると、羽根がガードにあたる場合があります、羽根が破損し、けがをする原因になります。

禁止

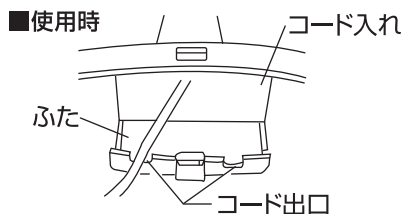
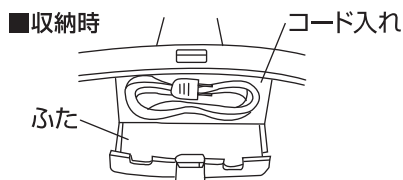
10 コードを収納する

- 長時間使用しないときや保管するときは、電源コードをきれいに折りたたんで支柱後部底面のコード入れに収納してください。

※使用時はコード入れから電源コードを全部出してしっかりとのぼし、コード出口から電源コードを出して、ふたを閉めてください。

ご使用上の注意

- ※電源コードは必ずコード出口から出してください。コード出口以外の所から出すと、電源コードが変形や破損して、ショート・発火の原因になります。



※支柱後部を持ち上げて、ふたを開閉します。

■使用後は事故防止のため電源プラグをコンセントから抜く

「入・切」ボタンを押し、運転を停止してから電源プラグを抜いてください。

注意



プラグを抜く

長時間使用しないときや使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

- 絶縁劣化による感電や漏電により火災・やけど・けがの原因になります。

お手入れと保管

警告



ぬれ手禁止

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。ぬれた手で抜き差ししない

●不意に動作してけがをしたり、ショート・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体や操作部に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●感電・ショート・火災・故障の原因になります。

注意



禁止

お手入れにはシンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない

●製品の変質や劣化による破損・故障・けが・事故の原因になる場合があります。
※お手入れは水またはぬるま湯か、薄めた台所用中性洗剤を含ませたふきんで汚れをふき取ってください。



禁止

掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹き付けない

●変質・破損などによりけがや事故の原因になります。

ご注意

- 取り外し、組み立てのときはけがをしないように充分注意しておこなってください。
- お手入れ後にご使用される場合は、羽根、ガードは確実に取り付けてください。羽根、ガードが外れてけがをする原因になります。

〔お手入れ〕

- 羽根・モーター部にほこりが多量に付着すると異常音・振動・モーターの過熱の原因になります。定期的に羽根・ガードを取り外し、お手入れをしてください。
- ガードは正面に向けて、組み立てと逆の順序で取り外してください。
※ガードが正面に向かない場合は無理に戻さず、首振りさせて正面に向けてください。破損・故障の原因になります。

■本体

- 汚れは、水に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取る。
- 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようにふき取る。

■人感センサー部

- 定期的に乾いた柔らかいふきんでお手入れをしてください。
人感センサーの表面が汚れていると、感度が悪くなったり作動不良の原因になります。

■モーター部、前・後ガード、羽根

- 掃除機でこまめにほこりなどを吸い取ります。
 - 落ちにくい汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した柔らかいふきんをよくしぼってふき取り、さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤分が残らないようにふき取る。
- ※お手入れ後は羽根・ガードをしっかりと取り付けてください。

〔保 管〕

- 〔お手入れ〕の方法に従って、お手入れします。
- モーター軸の汚れを取ってミシン油をうすく塗り、チューブをかぶせます。(さびの防止)
- 包装ケースに納め、直射日光を避けて、湿気の少ない場所に保管します。

お手入れと保管 つづき

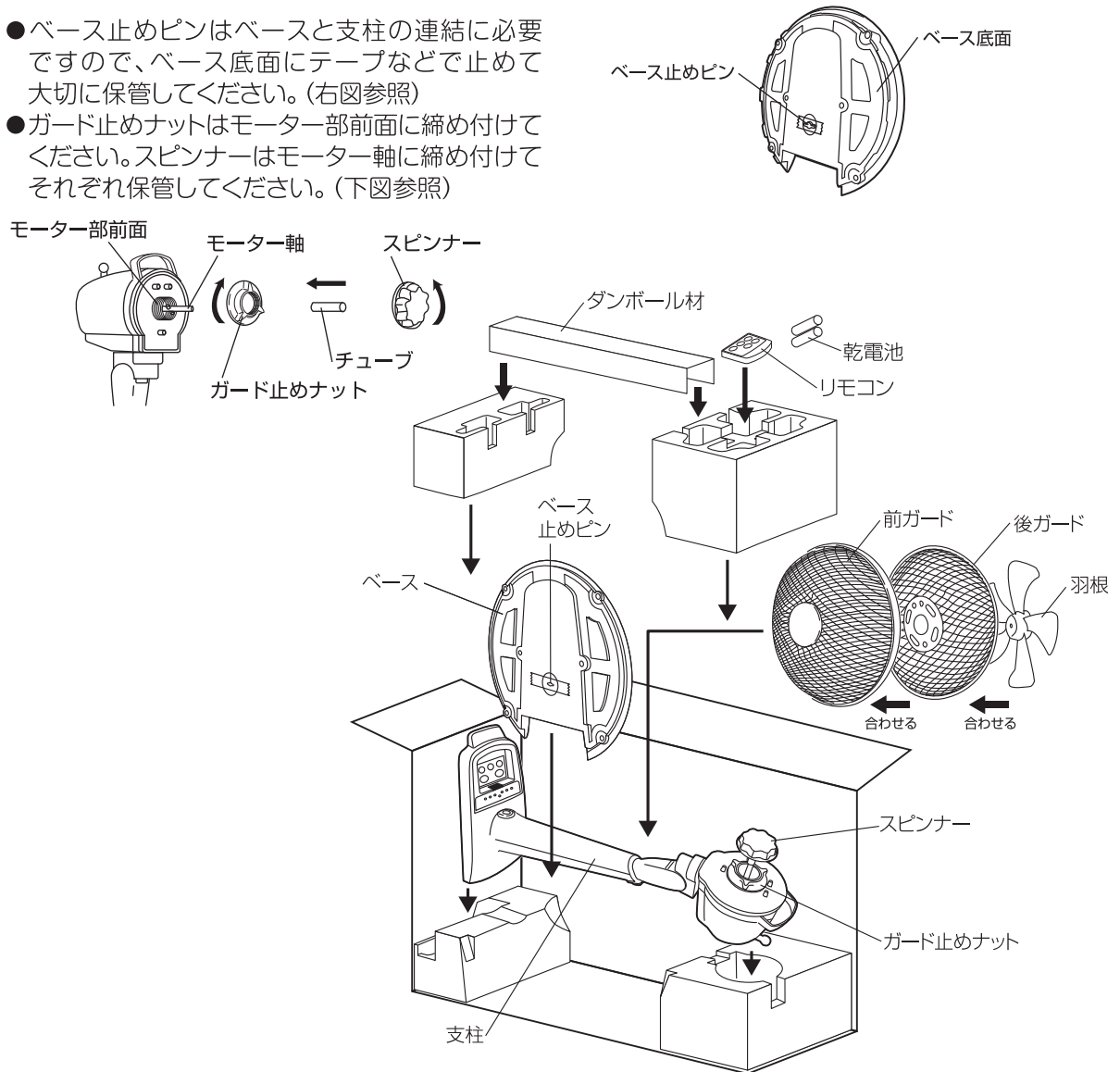
〔収納方法〕

- 製品を組み立てと逆の順序で取り外します。(6～7ページ参照)
- 下図を参照して扇風機を収納してください。

…お願い…

※リモコンは乾電池を必ず取り出して保管してください。
乾電池の液もれや電池の寿命が短くなる原因になります。

- ベース止めピンはベースと支柱の連結に必要ですので、ベース底面にテープなどで止めて大切に保管してください。(右図参照)
- ガード止めナットはモーター部前面に締め付けてください。スピナーはモーター軸に締め付けてそれぞれ保管してください。(下図参照)



仕 様

電 源 (V)	周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風速 (m/min)	風量 (m ³ /min)	質 量 (kg)
100	50	46	185	40	約3
	60	48	190	43	

長期使用製品についてのご注意

長年ご使用の製品は、熱、湿気、ほこりなどの影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火のおそれがあります。

ご使用中につきのような症状がみられる場合は、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買上げの販売店または本書記載の「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がする。(摩擦音・接触音・打音などがしたり羽根がブレて振動しているなどの状況)
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

異常があればご使用中止!!

すぐにコンセントから電源プラグを抜いて、お買上げの販売店または本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

設計上の標準使用期間

製品本体に表示してある【設計上の標準使用期間】は下記に示す標準的な使用条件の下で使用した場合に安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

環境条件	電 圧	AC 100V
	周 波 数	50/60 Hz
	温 度	30℃
	湿 度	65%
	設 置	本書に基づく組立て及び設置
負荷条件	本製品の最大定格での運転	
想定時間	運 転 時 間	8h/日
	運 転 回 数	5回/日
	運 転 日 数	110日/年
	スイッチ操作回数	550回/年
	首振運転の割合	100%

製品の故障や劣化は、この条件以外でもさまざまな要因に影響を受けます。標準使用期間に達しない場合でも、上記のような異常がみられた場合にはすぐにご使用をやめ、販売店もしくは「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。また、「設計上の標準使用期間」は「保証期間」とは違い、本製品の無償修理を保証する期間ではありません。保証内容及び期間につきましては本書に添付の「保証書」に記載いたしております。

アフターサービスについて

- ①この製品には保証書がついております。
お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- ②保証期間はお買上げ日より1年です。
保証期間中の修理はお買上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- ③保証期間経過後の修理（有料）についてはお買上げの販売店にご相談ください。
- ④この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ⑤アフターサービスについてご不明な場合は、本書に記載の「山善 家電お客様サービス係」へお問い合わせください。

この製品についてのお取扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「山善 家電お客様サービス係」にご相談ください。

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は、商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ダイヤル  0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間：10:00～17:00（土・日・祝日を除く）

●FAXでの  0120-680-287

●Eメールでの  info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には商品名・品番をご連絡ください。

J-141224